

マダニによる 感染症に

注意!



**マダニによる感染症は春から秋にかけて増加します。
マダニに咬まれないよう注意しましょう!!**

マダニとは

- 森林や草地などの屋外に生息する比較的大型のダニです。
- 春から秋にかけて活動が活発になります。
- シカ・イノシシなど野生動物の出没する環境に多く生息しています。
(飼い犬等に付着して持ち帰る場合もあります)
- 皮膚の柔らかいところ【わきの下・足の付け根・手首・膝裏・頭や首など】に咬みつки、数日間かけて吸血します。
- 咬まれることにより「日本紅斑熱」「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」に感染することがあります。



吸血後 成ダニ



若ダニ



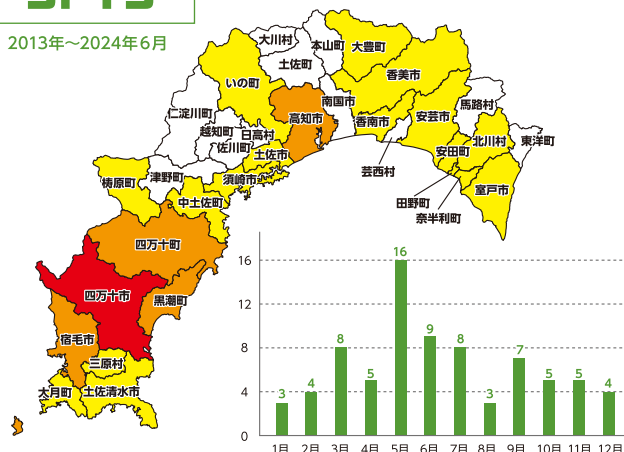
産卵中 成ダニ

感染症名	潜伏期間	症状
SFTS	6~14日	発熱、いつもと違い何となくぼんやりしている、消化器症状(嘔吐や下痢、食欲不振)など。致死率は約30%
日本紅斑熱	2~8日	発熱、発疹など。致死率は約1%

高知県内の発生状況

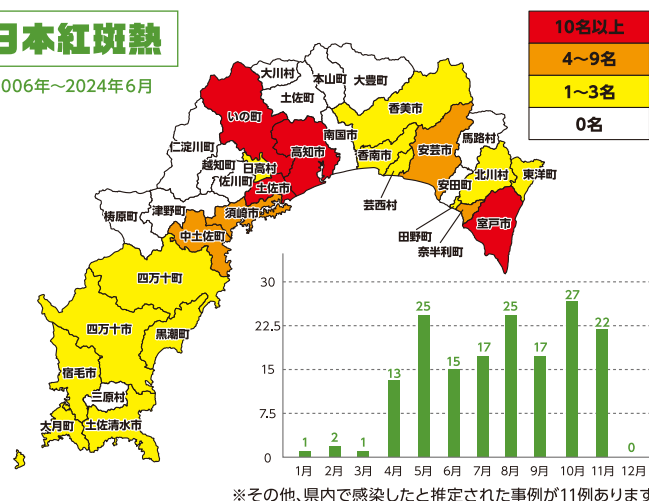
SFTS

2013年~2024年6月



日本紅斑熱

2006年~2024年6月



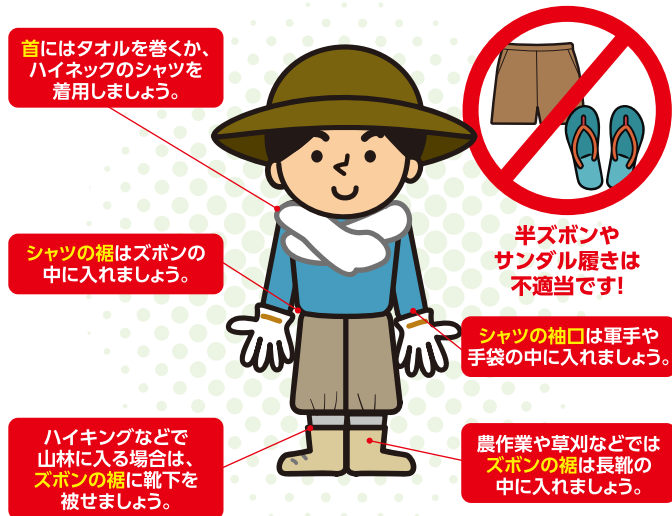
10名以上
4~9名
1~3名
0名

予防(マダニに咬まれない)のポイント

感染予防にはマダニに咬まれないようにすることが重要です。

屋外で活動する際は…

- ①皮膚の露出を少なくする。
- ②忌避剤(防虫スプレー)の使用も効果的です。
- ③帰宅後は、ダニを家の中に持ち込まないようにするとともに、ダニが付いてないか(咬まれていないか)確認しましょう。
※咬まれても痛みや痒みはあまりなく、気づかない事も多いです。



出典: 国立感染症研究所 昆虫医学部

もしマダニに咬まれたら

無理に引き抜こうとすると、マダニの体液を逆流させてしまったり、マダニの一部が皮膚内に残ってしまい化膿することがありますので、**医療機関(皮膚科や外科など)で適切な処置を受けて下さい。** マダニに咬まれた可能性がある場合は2週間程度は体調の変化に注意してください。

体調が悪くなったら

- ① 野山に出かけるなどマダニに咬まれた可能性があり、数日~2週間程度で発熱や発疹、嘔吐、下痢、ぼんやりした感じなどの症状が出た場合は速やかに医療機関を受診してください。
※マダニに咬まれた跡が見つからない場合もあります。 ※受診時に、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えてください。

- ② 屋外と行き来があるペット(特に猫)に咬まれて感染する場合があります。
ペットに咬まれて数日~2週間程度で、発熱や発疹、嘔吐、下痢、ぼんやりした感じなどの症状が出た場合には、SFTSの可能性があるので、速やかに医療機関を受診してください。



マダニに関する相談

マダニによる感染症やその予防対策等は最寄りの福祉保健所(保健所)にご相談ください。

機関名	電話番号	機関名	電話番号
安芸福祉保健所	0887-34-3177	須崎福祉保健所	0889-42-1875
中央東福祉保健所	0887-53-0297	幡多福祉保健所	0880-34-5120
中央西福祉保健所	0889-22-1249	高知市保健所	088-821-6514